大崎町消防団員募集

火災だけでなく、風水害・地震などの災害時、平常時（避難訓練などの啓発活動）で活動をおこない地域の安全を守っている「大崎町消防団」。
しかし、少子高齢化などの理由により現在団員不足が深刻な問題になっています。
そこで今回は、地域における消防団の重要性や、「大崎町消防団」の活動内容、団員の声などを紹介します。自分たちの町を一緒に守りませんか？

消防団とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、それぞれの市町村に設置された消防機関です。消防署に勤務する隊員とは違い、消防団員は会社員や自営業者として働いており、地域で火災が発生した際などに自宅や職場などから出動し消火活動をおこなうだけでなく、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救援活動、避難誘導など多岐に渡って活動しています。

また平常時においても、各種訓練・点検、啓発活動など地域における消防力・防災力の向上を常に心がけて活動しています。

消防団の課題

現在、町内において6つの消防分団が設置されています。令和8年10月1日現在で190名の消防団員が所属していますが、定数240名を下回っているのが現状です。その中でも、中央分団、野方分団においては定数より10名以上の不足となっています。地域について詳しく即時対応可能な団員が不足することで、充分な消防活動をおこなうことができず、地域の安全確保もできない状態になります。

団員不足の現状の中ですが近年では、各分団で女性団員も増えて活躍も期待されています。普段は様々な仕事をされて忙しい方もそれぞれのライフスタイルに合わせた活動を協力しておこない、私たちの住む地域を守りませんか。

消防団員になるには
❶ 大崎町に居住、又は勤務するもの
❷ 年齢18歳以上のもの
〈分団紹介〉
中央分団・大丸分団・菱田分団・中沖分団・持留分団・野方分団

入団のお問い合わせ
役場総務課 消防防災係（内線 212、213）

各地区の分団で活躍しています

当時の団長の奥様からお話を伺い、周りの方々に勧められ入団しました。職場の先輩や兄が消防団員でしたので、消防団の存在は元々身近にあったようなイメージです。

入団し、消火活動の他にも定期的な消火栓・防火水槽の点検や火災予防運動の広報活動など様々な活動があることを知りました。女性でもできる活動があります。一緒に大崎町を盛り上げていきましょう。



中央分団
小田 麻美さん
（分団員歴：3年）

入団してから、今年で28年目を迎えました。今年からは分団長を務めています。当時は若い団員が少なく、「自分も地域の力になれれば」と思ったことが入団のきっかけです。活動を通して地域の安全・安心を支えられることにやりがいを感じています。また、2年に一度の操法大会も、仲間と練習を重ね、一つの目標に向かって取り組む大切な機会です。

消防団では、一緒に活動する仲間を募集しています。私たちと一緒に、大切な地域を守っていきましょう。



菱田分団
神﨑 大輔さん
（分団員歴：28年）